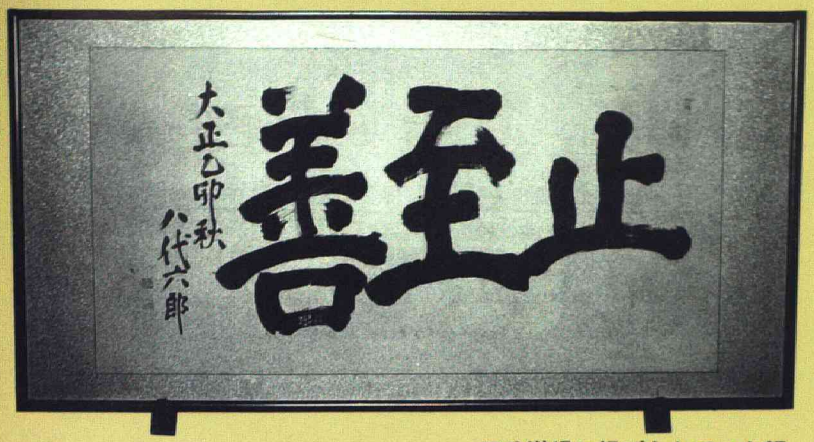
学内の文化遺産

額及び軸類



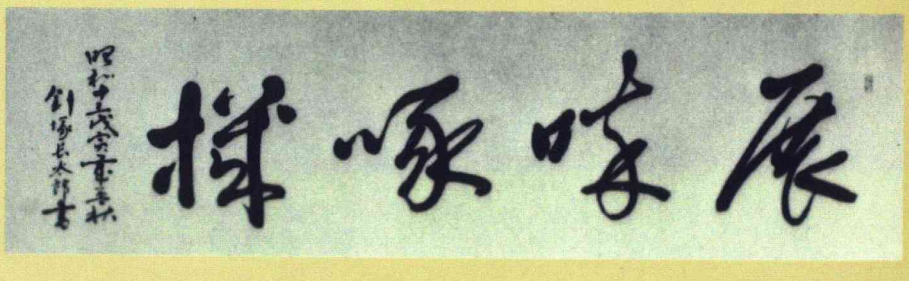
旧武道場に掲げられていた額

山岡鉄舟書の屏風

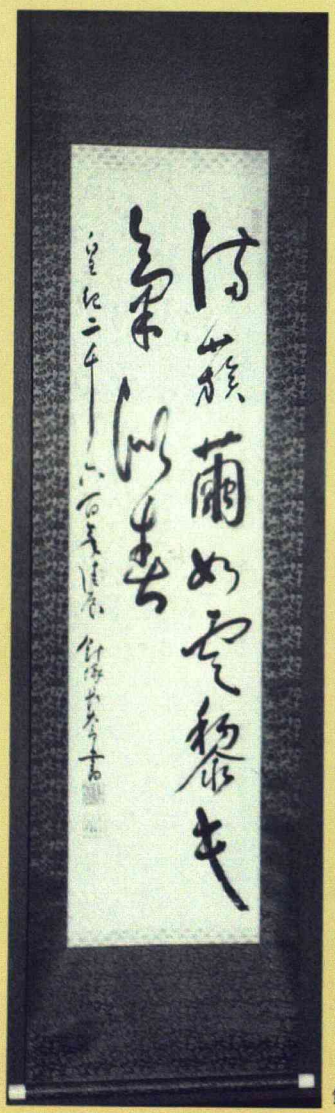
竹山書（学部長室）

比田井天来書
(教官会議室)

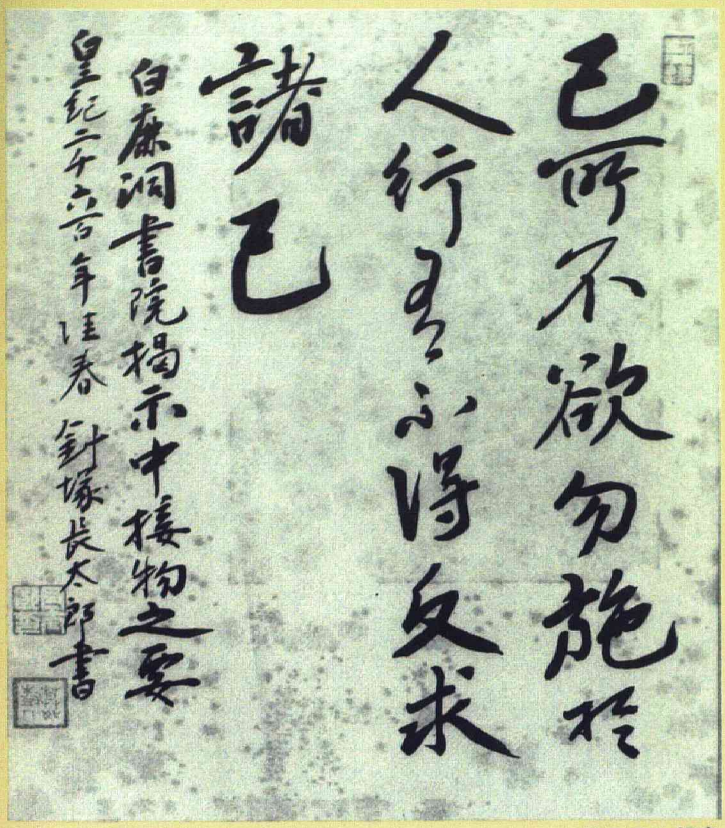
揮毫する針塚先生



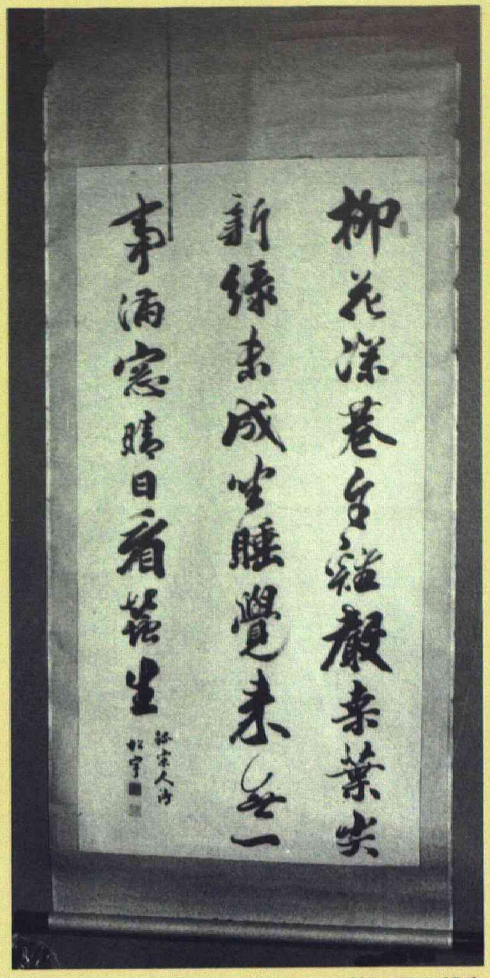
「啐啄の機を展ぶ」 これは親鳥が卵を温めながらひよこが出かかる時、卵を殻の上からつつくのが啄、啐とはひよこが殻を破って出ようと中からつつく意味で、この啐啄の機微をとらえて、先生と生徒とが愛をもって一体となり教育活動を展開するところに教育の成果があがることにたとえて、針塚校長は日頃この言葉を好んで実践されたようである。



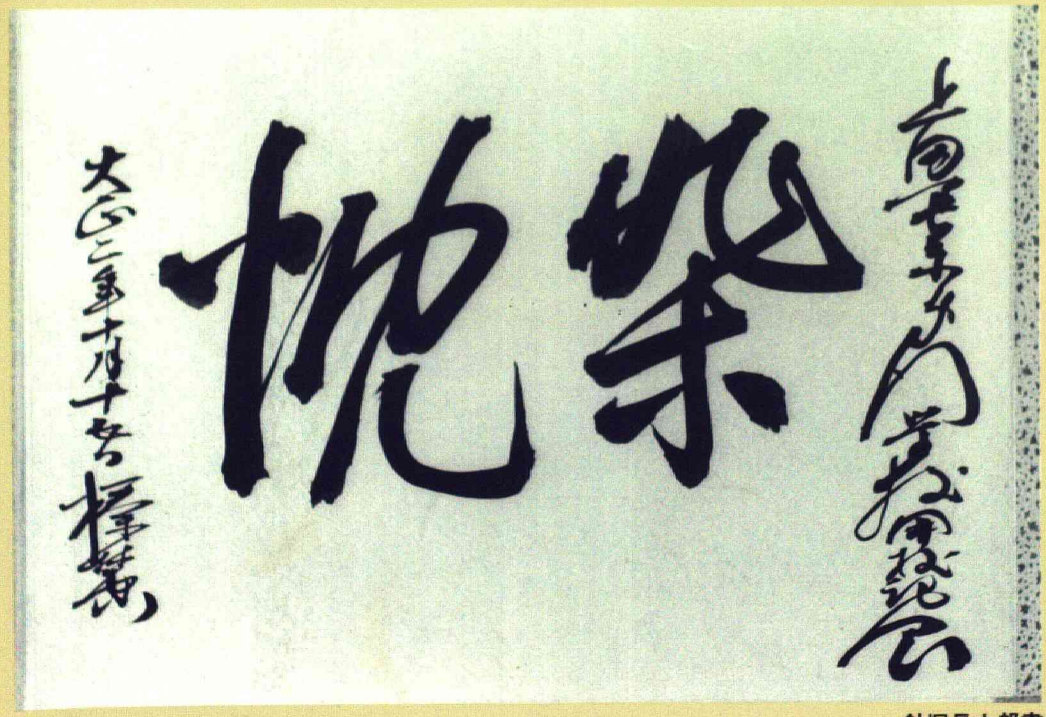
針塚長太郎書



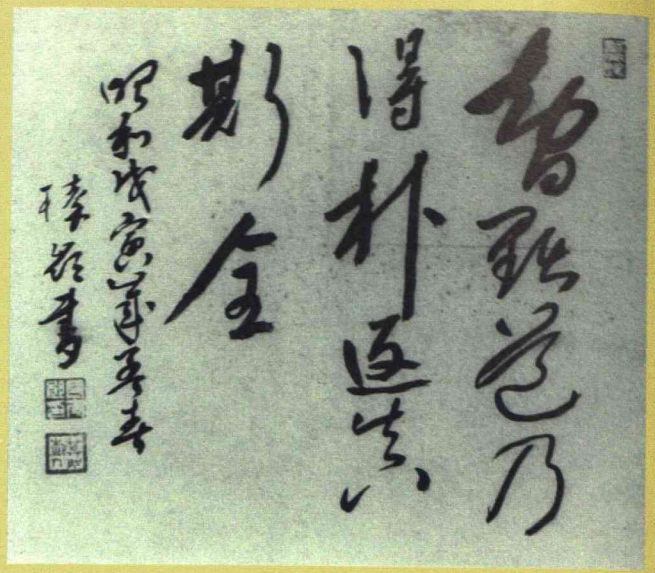
針塚長太郎書



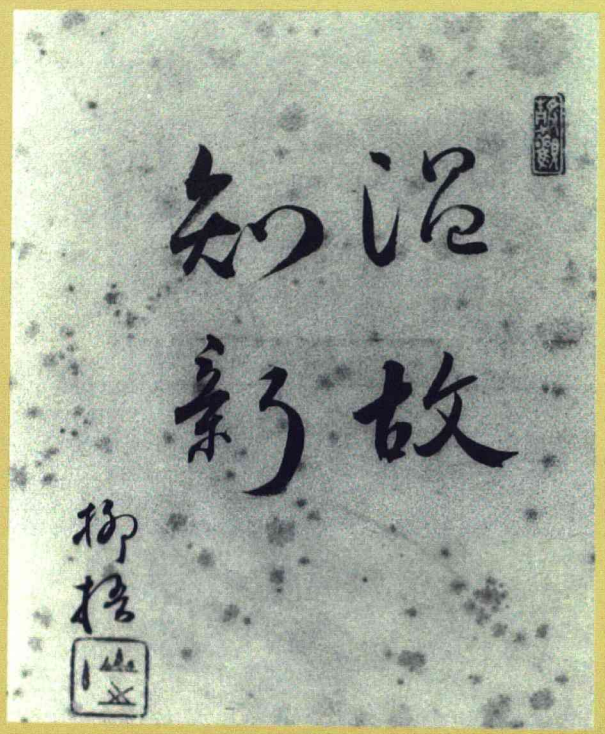
針塚長太郎書



針塚長太郎書



針塚長太郎書



井上柳梧書

土井晩翠書

生糸商標

朔風会（製糸科二回生）が本学開校記念の展示用として全国製糸工場から集めた生糸商標の一部（大正二年）

生絲商標彙帖序

商標之於商業猶旗幟之於戰陣也戰陣不撰旗幟則無威儀也商業不撰商標則無信用也然而製絲家之於商標莫之與京我朔風會有所見于此蒐全國所有名製絲家商標爲冊子備諸校内一以爲開校記念一以爲商標參考若夫爲我校製絲科學生者考覈研究之以有所得則庶乎其有爲于他日乎帖首裁數言爲序

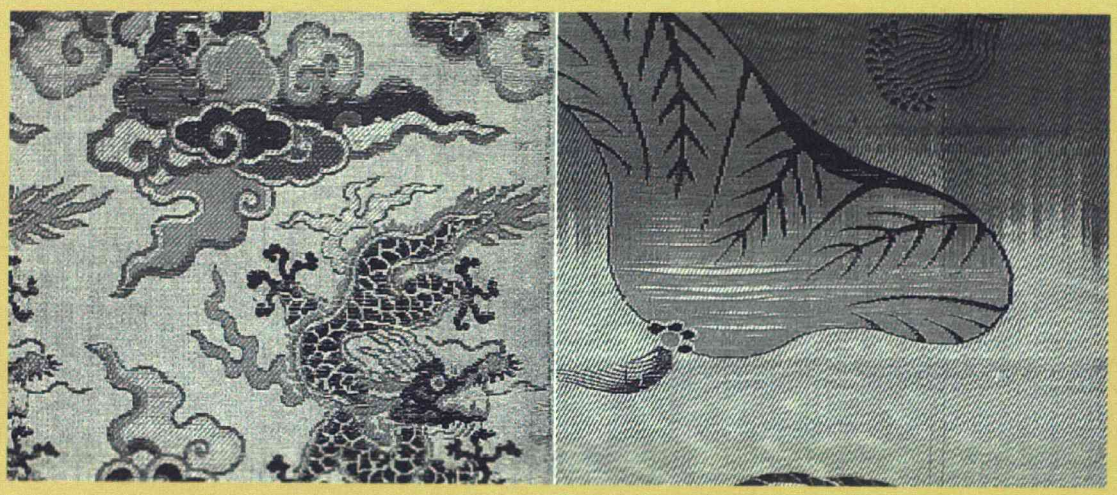
大正二年十月

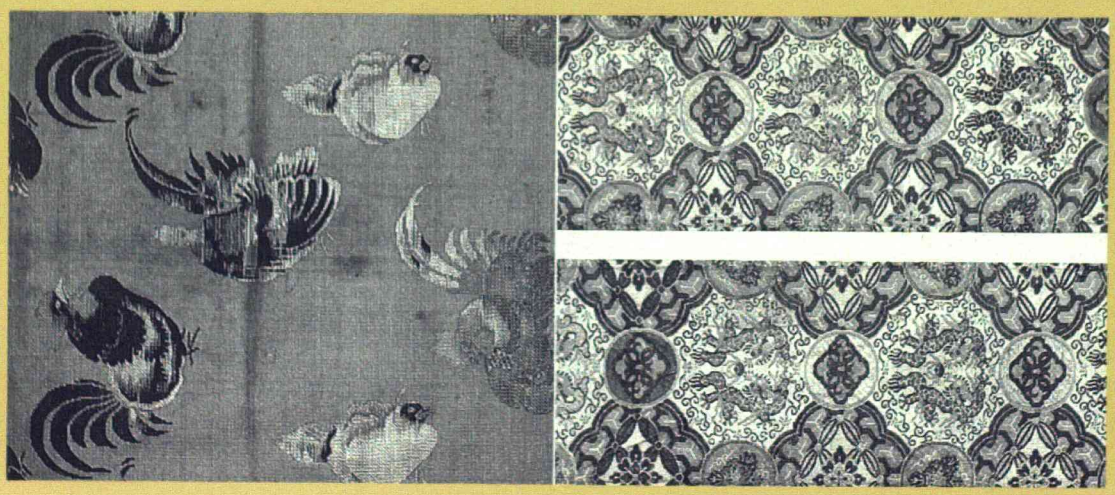
製絲科第二期生朔風會

會長　矢田部忠吉撰

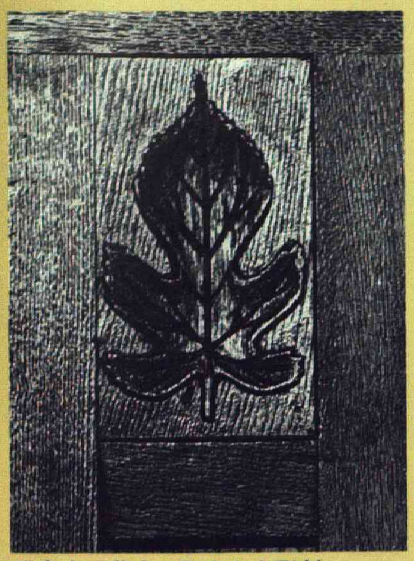
名物裂（ぎれ）

本学図書館所蔵の第一巻～第三巻 三七七葉中の一部（大正初期）





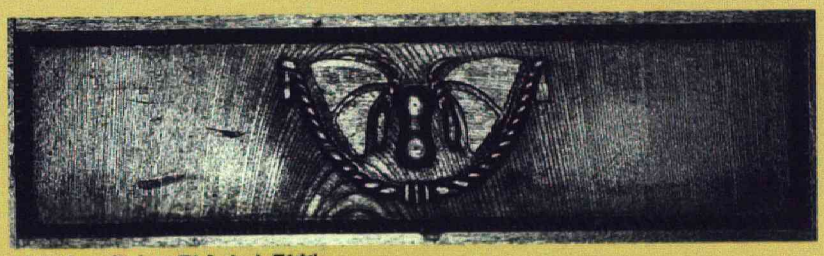
講堂内の蚕糸にちなんだ彫物



講堂内の花台に彫られた彫刻

講堂内部全景

講堂演壇側面に
彫られた彫刻

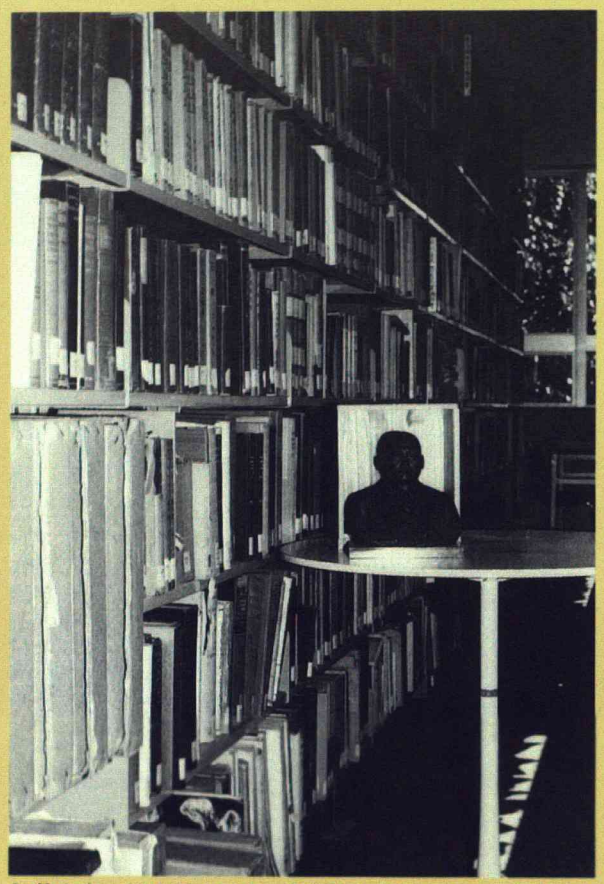


講堂内の花台に彫られた彫刻

講堂入口の天井に彫られた彫刻

その他

養蚕輯要・版木及び印刷物
玉井市郎治著（文化10年）



加美文庫　製糸科３回卒、加美好男氏寄贈（3,700余冊）
（昭和16年）

中央ロータリー七幹の松